

令和2年5月1日

町民の皆様へ

日に日に増加する新型コロナウイルス感染者数ですが、皆様もご自身のこと、ご家族のこと、また離れて暮らす知友のことを思うと、大変ご心配のことと思います。私は当初、コロナウイルスは風邪など感染症のうちの一つ程度の認識で、早期に回復するものと考えていました。しかしながら、世界中で多数の感染者とともに、多くの死者が出る大惨事となっています。

町民の皆様も、感染防止対策として、不要不急の移動はせず、密閉、密集、密接の「三つの密」を避けていただくとともに、出来るだけ人との接触を断つていただくようお願いいたします。食料品の買い物等では、複数での入店を避け、他の人との間隔をとってください。また、マスクをお持ちの方は着用をお願いします。

テレビ、新聞等では、コロナ疎開の報道がされました。国からの要請で居住地に留まることが原則ですが、既に別荘にいられている方をお守りするの町務めです。別荘住民の方々には、別荘に留まり、できるだけ外出を控えていただくようお願いしております。また、スーパーマーケットやコンビニエンスストアをはじめ、多くの人の利用する施設に対しては、職員が出向き感染防止に努めていただくよう働きかけております。観光の皆様方には、コロナ感染が収束するまでお待ちいただきたいと思っております。

日本経済は大変な状況になっています。前号で紹介したとおり、観光立町軽井沢にとっても、経済的に生死を分ける瀬戸際に立っているものと思われまます。何としても、観光業をはじめ町の産業を継続させなければなりません。経済支援対策としては融資枠の拡大や各種税金の猶予、上下水道料金の猶予などの施策を行っています。国の支援対策と併せてご利用ください。役場関係課窓口、町内金融機関にてご相談ください。収束に向かい先が見える状況になりましたら、観光振興対策を強く打ち出してまいります。そのための準備を観光協会、旅館組合、商工会とともに進めております。

現在は非常事態です。このような時にこそ、人としての真価が問われます。個人も世界の国々も相手に対する偏見や差別をする、また排除するような心の分断を避けなければなりません。一人ひとりの良心からの行動を結集して、この難局を乗り越えましょう。

軽井沢町長

藤 巻 進